

行雲流水

No.75 令和3年7月15日発行

夏期休業を有効につかおう！

校長 寒河江 正人

本校からは、**10競技・計91名**の選手団が**県中総体**に出場する。
そして、今週末には**吹奏楽コンクール、硬式テニス県中選手権**への出場。
いずれの競技・活動であれ、これまで身につけた「**心・技・体**」のすべてを注ぎ込め！
ベストパフォーマンスのために**一瞬一瞬、その「時」に集中**するのみ！
悔いを残すな！ 完全燃焼！ 本校生徒諸君の**健闘**を祈る！！

さて、**授業日数**は、明日から残すところ、**あと9日**。(土日を入れると**15日、360時間**)
そして、まもなく**夏季休業20日間(480時間)**がスタートする。
「**タイム・イス・マネー(時は、金なり)**」「**一刻千金**」「**一寸の光陰軽んずべからず**」等々。
洋の東西を問わず、「**時間は、貴重なもの**」であることは疑うべくもない。

生徒諸君、きみはこの「**貴重な時間**」をどうつかう？
工夫して有効につかうも、ただ無駄にしてしまうも、「あなたの知恵」次第だ。
きみの「知恵の出し方」が問われているのだ。

「**時間を有効につかう**」には、「**あらかじめ準備(計画)しておくこと**」が必要だ。
まず、夏季休業中の「3点固定(起床・家庭学習・就寝)の生活リズム」が基本。
次に、やることを並べてみる。宿題、部活動、スポ少、オープンスクール、塾、等々。
その上で、「**20日間(480時間)の皿**」の上に置いてみよう。
「何を、どんな順番で、どのくらいずつ、いつまで、どういう状態にしたいのか。」
この「**準備(計画)**」は、具体的であれば具体的であるほど、よい。
一人で難しい人は、先生や家族や友達と相談するのも、いいかもしれない。
この準備とウォーミングアップは、明日からの15日間(360時間)をつかえばよい。

休みの途中で、つまずいたり、挫けそうな人は、学校に来て、先生に**相談**しよう。
きっと、あなたが困っていることに**解決の糸口**を**アドバイス**してくれるはずだ。

「世の中の大概のことは、起きてもないうちから心配しても始まらない。
心配したり不安になるよりも、まず具体的な行動を1つ起こしてみよう。」